



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2010年8月4日

LOJAPR10/20-No. 169

プレスリリース

**F A Oは小麦生産の見通しを下方修正するも供給は十分とみなす
—価格急騰にもかかわらず小麦在庫は依然高水準—**

2010年8月4日、ローマ - 過去数週間の天候不順の影響により、F A Oは2010年における世界の小麦生産見通しを6月報告時の6億7,600万トンから6億5,100万トンに下方修正した。

しかし、生産上の問題が主要輸出国のいくつかで見られるものの、世界の小麦市場は2007-08年の世界食料危機時と比較してはるかに安定しているため、現時点で新たな世界食料危機の恐れはない、とF A Oは述べている。

継続的で壊滅的な干ばつによりロシア連邦における作物が被害を受け、カザフスタンおよびウクライナにおける生産低下と相まって2010-11市場年度における世界の小麦供給力に対する強い懸念を惹起した。

世界の小麦市場の混乱は、ここ数週間激化しており、これは世界市場が小麦の主要供給地として不安定な単収で知られる黒海地域への依存度を高めている証拠である。更に、小麦の主要な生産国であり、輸出国であるカナダで予測される生産減も市場の懸念を助長している。

小麦価格の急騰

国際小麦価格は、6月以降50%以上急騰した。この急激な価格上昇が2007-08年の危機の再来に対する懸念を促している。

しかし、2年連続した記録的な豊作の後、世界の在庫は予想される生産減を補うのに十分な程度満たされている。更に重要なのは、不測の事態に対する主要な緩衝材として伝統的な小麦輸出者により保持されている在庫は依然豊富である。

2007-08年に国際価格上昇の背後にあって主動していたマクロ経済環境及び他の食品市場の動向を含む外的要因は、いまのところ脅威にはなっていない、とF A Oは述べた。

最新の2010年の世界の小麦生産見通しの下方修正は、供給が逼迫し、前期に比べて小麦価格が上昇する可能性の増加を示している。しかし、世界食料危機の懸念は現段階では認められない。

一方、ロシア連邦における干ばつが続けば、同国における冬期作付けに問題が生じる恐れがあり、2011-12年の世界の小麦供給に深刻な影響を及ぼす可能性がある。

F A Oは状況の厳重な監視を続ける。

英文URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/44570/icode/>